

サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	デジタル・スマートシティ推進部 (情報システム課)
2 協議事項 (案件名)	システムネットワーク及び行政経営基幹システム（コアら）再構築
3 背景・現状 (現状把握で きる統計数値 など)	【背景】 ・ 現行の接続ネットワーク（番号系・コア系（LGWAN 系））で利用している機器が、令和 8 年度末でリース満了となるため、機器のリース満了までにネットワークの再構築を実施する必要がある。 ・ 現行コアらの導入（平成 21 年）から 15 年が経過し、日進月歩で進化するデジタル技術や多様化する制度・サービスに対応できず、全庁の業務効率化の推進を阻む一因となっている。（例：電子請求、電子契約、オンライン入札参加資格申請、eL-QR、会計年度任用職員の管理など） 【現状】 <ネットワーク> ・ 現在の庁内ネットワークは総務省「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に記載されている「α（アルファ）モデル」となっており、番号系、コア系（LGWAN 系）、インターネット系に 3 層分離している。 <コアら> ・ 現行システムは、ベースシステム（富士通 IPKNOWLEDGE）に浜松市向けのカスタマイズを加えているため内部構造が複雑・不明瞭になり、改修費用や保守運用にかかる費用が非常に高額になっている。
4 検討経過・課題	<ネットワーク> ・ 番号系、コア系（LGWAN 系）の端末は全て有線 LAN でネットワーク接続されており、年度末人事異動に伴う各課のレイアウト変更が大きな作業となっている。 ・ マイクロソフトオフィスが端末 1 台 1 ライセンスではなく、ユーザー 1 人 1 ライセンスへと販売形態が移行してきており、ライセンス認証のためのインターネット接続および端末管理サーバの導入が必要となる。 <コアら> ・ 令和 6 年 7 月に、プロジェクトオーナーを山名副市長とする庁内検討体制（プロジェクトチーム）を設置。 ・ プロジェクトチームにてシステム情報収集および現状の業務要件を整理し、新システムの調達、構築の方針を検討する。 ・ 令和 9 年に稼働する予定で調達準備を進める。
5-1 方向性の 提案（目指 すべき姿）	・ セキュリティを十分に確保するとともに職員にとって利便性の高い機器利用環境の稼働を実現するため、ネットワークの再構築を行う。 ・ ネットワークを再構築したうえで、新しい機器利用環境を踏まえたコアらの再構築及び BPR を前提とした業務運用の見直しによる行政事務の全体最適化を達成する。

5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項（妥当性、必要性、有効性など）	＜ネットワーク＞ ・令和6年度改訂予定の総務省「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に記載される「α'（アルファダッシュ）モデル」へ移行する。現状のコア系から特定の通信先に対してのみインターネット通信を許可（ローカルブレイクアウト）することで、マイクロソフトオフィスのライセンス認証を可能とする。また、安全なクラウドサービスが利用可能となることを見込む。 ・端末設定管理やマイクロソフトオフィスのライセンス管理のため、端末管理サーバを導入し、統一的な端末管理を可能とする。 ・コア系端末は無線 LAN 対応端末へ更新して可能な限り無線 LAN 化を実現し、同一施設内であれば会議室等でもネットワーク利用可能とする。人事異動等に伴うレイアウト変更作業の負荷を低減し、毎年の工事請負費の減も見込む。 ・インターネット系をコア系端末から安全に接続するための仮想化技術の導入についても検討する。 ・番号系・コア系間でのデータ伝送のログを残すことができるファイル伝送サービスを導入し、番号系の USB 利用は禁止することでセキュリティ向上を図る。 ＜コアら＞ ・令和6年度は、現行システムの業務所管課（人事課、財政課、会計課等）が参加するプロジェクトチームにて、以下の事項を議論し決定する。 (1) 各業務を効率的に行うためのシステム要件整理と事務の再設計 (2) 各業務におけるシステムの情報を収集し、想定する事務運用に適合するシステム候補を抽出 (3) 各業務のシステムに必要なとなるシステム間情報連携の整理 (4) (1)～(3)に基づきシステム調達に必要な予算、調達仕様、構築期間を整理し、新システム稼働に向けたスケジュールと構築方針を決定 ・新たなサービスへの乗り換えがしやすいよう、統合パッケージのような密結合ではなく、それぞれの業務目的を達成する個別システム群を疎結合する仕組みも見据えて検討する。 ・法改正対応や機能アップデート等の保守に対応するためのコストを極力抑制するため、原則システム標準機能で運用するよう事務運用の見直しを図る。	
6 結果	■提案どおり進める □提案内容を一部見直して進める □再度、調査研究等を行い検討 □その他	具体的内容
7 その他		